

# 宮妻峡をARUKU

鈴鹿国定公園内の豊かな自然に包まれ、  
近隣の散策や水遊びをはじめとした自然体験などを楽しめる宮妻峡とその周辺をご紹介します。  
さまざまな面白い遊びとともに、自然や歴史を通した学びの場でもある宮妻峡を巡ってみませんか。

## 冠山茶の木原

水沢のもみじ谷から宮妻峡へ通じる林道を少し登った南斜面に、草や低木と混生する茶の木が確認されています。

伝承では、淨林寺(現一乗寺)のある住職が、弘法大師空海から茶の栽培方法を传授され、中国から持ち帰ったとされる茶の木の種をもらい受け、山の坊冠山にまいたのが水沢茶の始まりとされています。

昭和56年に市指定史跡となりました。



**歩くときは、帽子、歩きやすい服装、水分補給の用意を忘れずに。**

### うつろいフットパス

宮妻峡ヒュッテから星の広場まで  
細い坂道をゆったりと。車両に注意。

**50分 約6,500歩**

※フットパス右ページ参照



## 宮妻峡

内部川上流にある宮妻峡は、雲母峰と入道ヶ岳に囲まれた四日市市で唯一の渓谷です。林道の入り口にあたる紅葉の名所もみじ谷は、秋だけでなく初夏の鮮やかな緑葉も見応えがあります。

深い谷に沿って上流へ向かう途中には市指定史跡や展望台があり、周りを囲む山々は春の山桜、夏の新緑、秋の紅葉と四季折々の景色が楽しめ、ハイキングにもお薦めです。市街地では見られない植物や昆虫を探したり、清流の音に癒されながら川遊びやキャンプ、バーベキューなどを体験したり、これから の時期にぴったりなネイチャースポットです。この夏は宮妻峡を歩き、遊び、学んでみませんか。



## “フットパス”って？

「フットパス」とは、イギリスを発祥とする「森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径【Path】」のことです。

本場イギリスではフットパスが国土を網の目のように縫い、国民は積極的に歩くことを楽しんでいます。近年、日本でもさまざまな地域でおののの特徴を生かした魅力的なフットパスが整備されてきています。(日本フットパス協会HPより)



# 宮妻峡の **もっと詳しく** 近隣エリア

## 光明寺跡

林の中の開けた草地に、梵字と仏の姿らしき御影が刻まれた自然石の碑がたたずんでいます。南北朝時代の1384年(元中元年)に僧円靈が將軍足利義満に要請し、建立された光明寺跡です。かつての寺院と門前町があつた東西25間(45m)、南北1町(120m)の一部は茶園になっています。織田信長に焼き払われるまで約2世紀の間、七堂伽藍を始めとした多くの施設を擁して栄華を誇っていました。跡地からは、仏具、五輪塔、瓦類などが出土しています。



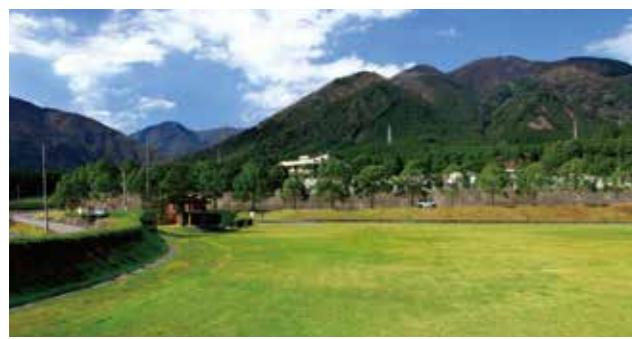
## 星の広場 (水沢市民広場)

水沢町252-63

少年自然の家に隣接している「星の広場」は広さ1万m<sup>2</sup>の芝生の広場です。周囲には高い建物などがなく、星空観察に最適です。

全面芝生で、水洗のトイレも完備。昼間は、芝生の上で思いっきり遊ぶことができます。

星空観察の時は、大人と一緒に、しっかり準備をしていこう



▲撮影:

四日市市立博物館  
天文ボランティア 所卓男さん



## 茶業振興センター

水沢町252-63 TEL/FAX:329-3367 休館:月曜日(月曜日が休日の場合翌日休館)



お茶の道具(茶器や手もみ用の台)などを展示しています。

製茶工場見学とお茶の歴史について説明を受けることができます。(多人数の場合、要事前連絡。無料)

製茶体験などもできます。(要事前連絡。有料)



## 少年自然の家

水沢町字大谷1423-2

TEL 329-3210

FAX 329-2095



豊かな自然の中で、新たなものや困難に立ち向かい、

「挑戦する心」

「感動する心」

「発見する心」を

育成し、問題解決能力や豊かな人間性、たくましさを身に付けた青少年を育成することを目的として設置された社会教育施設です。

宿泊研修や各種合宿、家族の触れ合いの場などとして宿泊または日帰りで利用できます。



ツリーハウス

カヤック

## 宮妻峡ヒュッテ

水沢町字冠山28



TEL/FAX:329-2237

E-mail:miyadumahutte@jupiter.ocn.ne.jp

雲母峰、入道ヶ岳に囲まれ内部川の清流と隣り合う宮妻峡ヒュッテは、家族や友人同士、子ども会やサークルの仲間とともに、バーベキュー・川遊びなどの自然体験を楽しめる、遊びと学びの青空教室です。

これからの暑い時期、熱中症およびソーシャルディスタンスに十分注意を払いながら、さわやかな自然に親しんでみませんか。



## 自然を長く楽しむために

- ・ごみは持ち帰りましょう
- ・共同施設(炊事場、トイレなど)をきれいに使いましょう
- ・宮妻峡ヒュッテやキャンプ場のすべての利用者が気持ちよく使えるよう心掛けましょう



## ✓ 熱中症を予防しましょう

- のどが渴く前に、水分補給をする(汗をかいたときは、塩分も忘れない)
- 通気性が良い服を着る、日傘や帽子を利用する(保冷剤や冷たいタオルを活用する)
- 暑さを避ける(気温・湿度が特に高い日は要注意)
- 体調管理を万全に(暑さに備えた体づくり、バランスの良い食事、十分な睡眠)

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は

観光交流課 ☎354-8176 FAX354-8315